マンション基礎施工中、養生上屋から墜落

墜落転落ー２

発生月日　時	1月17日（木）　16時　30分		工事内容	分譲マンション新築工事ーRC造　15階　54戸		
被災者	職種	とび・土工	経験年	5	所属	元請　　直営　　○2次会社　　1人親方　　請負外契約
被災程度	右前額部列創・広範性軸索損傷（高次脳機能障害を伴う）					

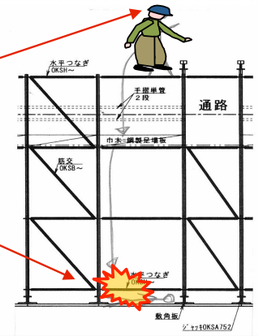
災害発生時記録

災害発生状況（写真）

災害発生時、マンションの基礎コンクリートを防寒養生するための上屋組立作業を行っていた。
被災者は屋根材として使用する足場板を運搬していたが、通路として屋上に設置していた足場板が固定されていなかったため足場板がずれた際にバランスを崩し、約5．5mの高さから均しコンクリート上に墜落したものである。　なお、屋根部分には親綱が数カ所設置されていたが、作業箇所から2m程度離れていたため安全帯を使用していなかった。

単管地足場断面図

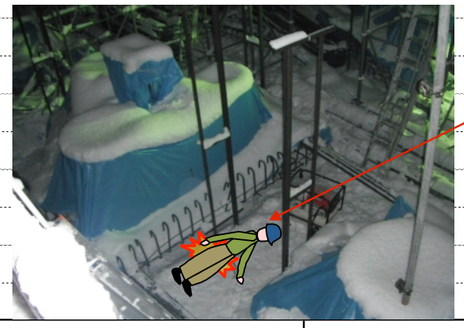
被災者墜落状況



初期の対策状況含む事項(写真含)

均しコンクリート上には積雪が20cm程度あったため、これがクッションとなったため最悪の状態は免れた。　被災者に大きな外傷は見受けられなかったが診断の結果、頭部に衝撃を受けており、高次脳機能障害と診断され休業約120日後に復帰となった。
※高次脳機能障害：物覚えが悪くなる、キレやすくなる、暴言・暴力を振るうなどの症状が出る。

被災者墜落箇所



番号	災害発生要因	人的要因	物的要因	管理的要因	同種工事の再発防止対策	コメント（追記・確認すべき事項）
1	親綱の位置が離れていて安全帯が使えなかったこと。	○			1　作業主任者は親綱位置と安全帯の使用を確認する事。	固定されていない足場板がズレて墜落する初歩的なミスであり、作業主任者も含め作業手順の確認を徹底する必要がある。
2	固定されていない足場板に乗ったこと。	◎			2　設置した足場板は直ちに固定するよう指導を強化。	

上屋除雪作業箇所に親綱（1．8m間）の設置を行う。

屋根部に軽量鉄筋を配置した

調査記入時の注意点ーー①　所属欄は5項目の該当する項目に○マークの記入　　②3要因(人的･物的･管理的)に関係・該当する要因に○ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。（添付要因資料参照）